

平成18年6月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年4月27日
(JASDAQ・コード番号: 6916)

会社名 株式会社アイ・オー・データ機器
(URL <http://www.iodata.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長
氏名 細野 昭雄
問い合わせ先 責任者役職名 総務部部长 IR担当
氏名 山森 光久

Tel : (076) 260 - 3377

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(内容) 法人税等の会計基準、その他影響額が僅少なものにつき、簡便的な方法を採用しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成18年6月期第3四半期財務・業績の概況（平成17年7月1日 ~ 平成18年3月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年6月期第3四半期	53,087	4.3	743		685		912	
17年6月期第3四半期	50,887	7.3	800	54.4	810	54.7	416	18.4
(参考)17年6月期	68,135	6.5	863	42.1	910	41.9	420	43.9

	1株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益
18年6月期第3四半期	62.08	
17年6月期第3四半期	28.32	
(参考)17年6月期	27.99	

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期におけるわが国経済は、昨年来から続く原油価格及び鉄鋼等の素材価格の高騰や日銀のデフレ脱却を目的とした「量的緩和政策」の解除発表後の金利の引き上げなどの景気低下の懸念材料はあったものの、雇用環境の改善に支えられた個人消費や企業収益の本格的な回復を背景に企業の設備投資も底堅く、景気は自立的な回復基調を推移しました。当社をとりまくパソコン業界におきましては、法人需要は、景気の回復基調の中で企業の情報化に対する投資意欲は安価になった液晶ディスプレイ装置や周辺機器が標準搭載されたパソコンを中心に旺盛であり、一方で個人需要においても低価格のノートブック型パソコンを中心に台数は伸びているが、市場は企業間の競争激化で製品価格は下落傾向が続いており、状況は厳しさを増しております。

このような状況下、当企業グループは1月に全社的な資材調達をコントロールする新しいセクションを設置して当社製品の市場における価格競争力の強化に一層注力し、売上の拡大に努めた結果、液晶ディスプレイ製品は17インチを主力に前年同期で12.8%増、メモリ製品は256MB、512MBのセキュリティ対応USBフラッシュが伸長し前年同期で4.5%増、ストレージ製品にいたっては300GBのHDD、16倍速スーパーマルチタイプDVDを中心に前年同期で2.2%強増加し、第3四半期全体の売上高では前年同期で4.3%増加したものの、利益面では、製品全般を通して製品の市場価格の低下に原価低減が追いつかず、原価率の大幅な悪化に見舞われ中間期の損失を大幅に回復させるには至りませんでした。

このため当第3四半期までの業績につきましては、売上高530億87百万円（前年同期比4.3%増）、営業損失7億43百万円（前年同期は8億円の営業利益）、経常損失6億85百万円（前年同期は8億10百万円の経常利益）、四半期純損失9億12百万円（前年同期は4億16百万円の純利益）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

（百万円未満切捨）

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年6月期第3四半期	40,467	19,535	48.3	1,329.79
17年6月期第3四半期	37,537	20,511	54.6	1,396.14
(参考)17年6月期	33,874	20,490	60.5	1,394.10

【連結キャッシュ・フローの状況】

（百万円未満切捨）

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年6月期第3四半期	2,882	438	3,392	4,023
17年6月期第3四半期	198	594	1,187	4,303
(参考)17年6月期	959	896	2,167	3,891

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前期末に比べ1億31百万円増加し、40億23百万円となりました。キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は28億82百万円となりました。これは主に、仕入債務の増加31億21百万円による資金増加と、税金等調整前四半期純損失6億89百万円、売上債権の増加22億82百万円、製品の安定供給を目的としたたな卸資産の増加25億10百万円及び法人税等の支払3億94百万円による資金減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は4億38百万円となりました。これは主に、有形無形固定資産の取得2億88百万円、投資有価証券の取得1億56百万円の支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は33億92百万円となりました。これは主に、短期的な運転資金の調達による短期借入金の増加35億61百万円と、配当金の支払1億45百万円によるものであります。

3. 平成18年6月期の連結業績予想（平成17年7月1日～平成18年6月30日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	72,200	569	856

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 58円 27銭

[業績予想に関する定性的情報等]

当企業グループの売上高及び利益の通期予想につきましては、来る第4四半期（4-6月）にサッカーW杯を控え、デジタル家電需要製品として液晶TV、録画用にDVD及びHDD製品等の売上も期待されることから、平成17年11月28日に公表しました業績予想と変更ありません。

【ご参考】

[製品分類別連結売上高]

(百万円未満切捨)

品目	平成 18 年 6 月期 第 3 四半期		平成 17 年 6 月期 第 3 四半期	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
増設メモリボード	11,365	21.4	10,874	21.4
ストレージ	16,244	30.6	15,888	31.2
液晶	14,193	26.7	12,576	24.7
周辺機器	7,149	13.5	7,509	14.8
特注製品	1,391	2.6	1,179	2.3
その他	2,742	5.2	2,858	5.6
合計	53,087	100.0	50,887	100.0

添付資料

(要約)四半期連結貸借対照表、(要約)四半期連結損益計算書、
(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

以上

〔添付資料〕

(1) (要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成18年6月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成17年6月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成17年6月期
	金 額	金 額	金額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	4,023	4,303			3,891
受取手形及び売掛金	15,582	15,693			13,544
たな卸資産	10,024	8,629			7,513
その他	2,591	926			901
流動資産合計	32,221	29,553	2,667	9.0	25,850
固定資産					
有形固定資産	5,112	5,233	121	2.3	5,152
無形固定資産	589	645	56	8.7	628
投資その他の資産	2,544	2,104	439	20.9	2,242
固定資産合計	8,245	7,983	261	3.3	8,023
資産合計	40,467	37,537	2,929	7.8	33,874
(負債の部)					
流動負債					
支払手形及び買掛金	12,936	12,675			9,831
短期借入金	3,581	1,000			20
その他	3,298	2,653			2,770
流動負債合計	19,816	16,328	3,488	21.4	12,622
固定負債					
退職給付引当金	141	133			145
その他	735	396			427
固定負債合計	876	530	346	65.2	573
負債合計	20,692	16,858	3,834	22.7	13,195
(少数株主持分)					
少数株主持分	239	167	71	42.5	189
(資本の部)					
資本金	3,588	3,588			3,588
資本剰余金	4,308	4,308			4,308
利益剰余金	11,802	12,910	1,107	8.6	12,914
その他有価証券評価差額金	119	54	64	116.9	40
為替換算調整勘定	9	59	68		69
自己株式	292	292	0		292
資本合計	19,535	20,511	975	4.8	20,490
負債、少数株主持分及び資本合計	40,467	37,537	2,929	7.8	33,874

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成18年6月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成17年6月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成17年6月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売 上 高	53,087	50,887	2,200	4.3	68,135
売 上 原 価	48,407	44,676	3,731	8.4	60,067
売 上 総 利 益	4,679	6,210	1,530	24.6	8,067
販売費及び一般管理費	5,423	5,410	13	0.2	7,204
営業利益(損失)	743	800	1,543		863
営業外収益	287	157	130	83.0	218
営業外費用	229	147	82	56.3	171
経常利益(損失)	685	810	1,496		910
特別利益	0		0		9
特別損失	5	59	54	91.3	28
税金等調整前四半期(当期)純利益(損失)	689	750	1,440		891
税金費用	203	295	92	31.2	417
少数株主利益	18	39	20	52.3	53
四半期(当期)純利益(損失)	912	416	1,328		420

(3) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当四半期 (平成18年6月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年6月期 第3四半期)	(参考) 平成17年6月期
区 分	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益(損失)	689	750	891
減価償却費	398	381	535
売上債権の増減額(増加)	2,282	1,006	1,094
たな卸資産の増加額	2,510	1,696	580
仕入債務の増減額(減少)	3,121	2,353	487
その他	544	123	34
小 計	2,508	659	1,419
法人税等の支払額	394	468	476
その他	21	7	17
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,882	198	959
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形無形固定資産の取得による支出	288	533	833
投資有価証券の取得による支出	156	42	70
保険契約による支出	0	54	76
保険契約解約による収入	37	47	76
その他	31	10	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	438	594	896
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(減少)	3,561	1,000	1,979
配当金の支払額	190	190	190
その他	21	2	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,392	1,187	2,167
現金及び現金同等物に係る換算差額	60	25	83
現金及び現金同等物の増減額(減少)	131	1,609	2,021
現金及び現金同等物の期首残高	3,891	5,913	5,913
現金及び現金同等物の期末残高	4,023	4,303	3,891